

カーボンフットプリントコミュニケーションプログラム について

2012. 8. 3

社団法人産業環境管理協会
カーボンフットプリント事業チーム
伊藤 聖子

プログラムの目的と基本的考え方

試行事業の目的達成を継承し、発展させて参ります。

1. 製品(サービスを含む。)のCO₂排出量を「見える化」する。
2. 事業者と消費者の間でCO₂排出量削減行動に関する「気づき」を共有する。
3. 「見える化」された情報を用いて、事業者がサプライチェーンを構成する企業間で協力して更なるCO₂排出量削減を推進する。
4. 「見える化」された情報を用いて、消費者がより低炭素な消費生活へ自ら変革していく。

本プログラムの中で別途認められた場合を除き、CFP の比較を行ってはならない。

1. 製品上に表示される数値について、他事業者や他のプログラムとの比較可能性を追及せず、事業者努力のコミュニケーションの裏づけとして活用する。
2. ただし、自社内の製品間比較は可とする。

CFP宣言（コミュニケーションの手段）

- CFPマーク

プログラムへの参加とCO₂削減努力表明手段として
CFPマークを弾力的に運用



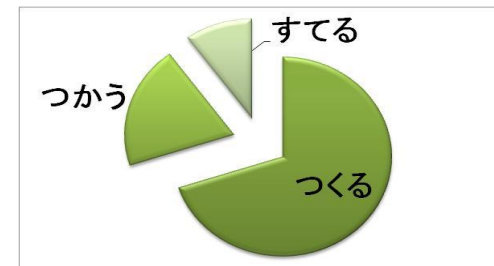
- 数値表示

ライフサイクル全体を1つにまとめた数値の表示



- 追加情報

ライフサイクル段階毎に分けが表示などによる
削減ポイント、削減努力対象の明示と解説など



- 登録情報

“登録情報”のホームページ公開による詳細内訳



CFP宣言の例

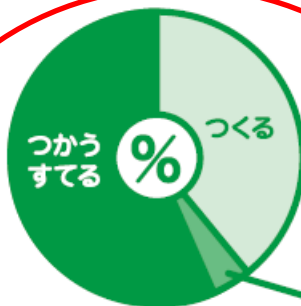
マークを利用した製品への表示例
(数値表示、追加情報表示)

WEBサイト上への表示例
(登録情報)



CO₂の「見える化」
カーボンフットプリント
1袋あたり

<http://www.cfp-japan.jp>
CR-XXYY-ZZZZ



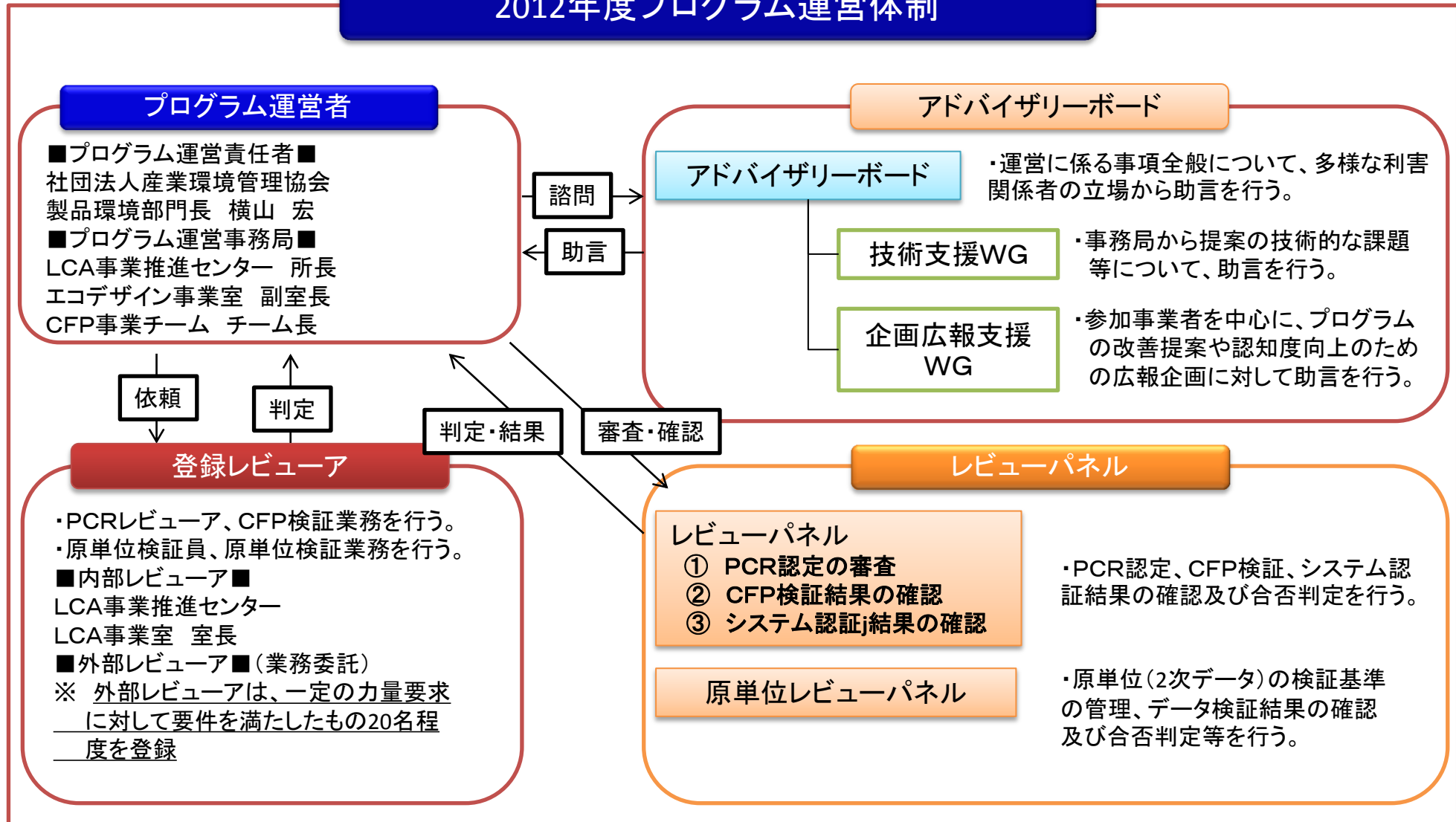
洗濯 1 回当たり (水位 60L) の
CO₂ 排出量は 280 g です。

さらに、各事業者の皆さんは自社のホームページで公開されている内容まで、「読まれる方」の理解につながる適正な表示を推進

登録情報 (ウェブサイト公開資料)			
1. 製品情報			
1.1	登録番号	CR-ES01-12002	
1.2	製品名称(日本語)	日本ハムグループ 社会・環境レポート2012	
1.3	製品名称(英語)	Nippon Ham Group Social & Environmental Report 2012	
1.4	製品型式	なし	
1.5	製品の主要仕様・構成	A4版、80ページ、オフセット4色刷、裏表綴じ 60,000部作成、重量(1部あたり):213g	
1.6	CFP算定単位	1部あたり	
1.7	申請種別/最終期	最終期	
1.8	公開日	(申請時には記入不要です)	
2. 事業者情報			
2.1	事業者名(日本語)	日本ハム株式会社	
2.2	事業者名(英語)	Nippon Meat Packers,Inc.	
3. CFP算定結果および表示方法			
3.1	CFP算定結果 (カーボンフットプリント)	730g	ライフサイクル全体のCO2排出量
内訳(ライフサイクル段階別)			
3.2	原材料調達段階	5.69E-01	kg-CO ₂ e
3.2	生産段階	7.78E-02	kg-CO ₂ e
3.2	流通段階	7.05E-02	kg-CO ₂ e
3.2	使用・維持管理段階	0.00E+00	kg-CO ₂ e
3.2	廃棄・リサイクル段階	1.25E-02	kg-CO ₂ e
数値表示方法の表示方法			
3.3	数値表示	730g	ライフサイクル全体のCO2排出量
3.3	追加情報(%)以外の 記載内容		<ul style="list-style-type: none"> 原材料調達段階 生産段階 流通段階 使用・維持管理段階 廃棄・リサイクル段階
3.4	備考		
4. 算定条件			
4.1	認定CFP-PCR名称	宣伝用および業務用印刷物	4.2 認定CFP-PCR番号 PA-ES-01
4.3	利用データベース	カーボンフットプリントデータベースプログラム、標準データベース v.1.0 (標準データベースを使用し、利用可能なデータは除外した。)	
5. 検証情報			
5.1	検証方式	個別別検証方式	5.2 システム認定番号 (検定別検証方式の場合は省略)
5.3	検証番号	CV-ES01-12002	5.4 検証有効期限 2015年6月25日
6. 事業者情報			
6.1	事業者名	日本ハム株式会社	
6.2	住所	東京都品川区大崎2-1-1 ThinkPark Tower	
6.3	電話番号	03-4555-8064	
7	備考	(事務局使用欄)	

プログラム運営体制

2012年度プログラム運営体制



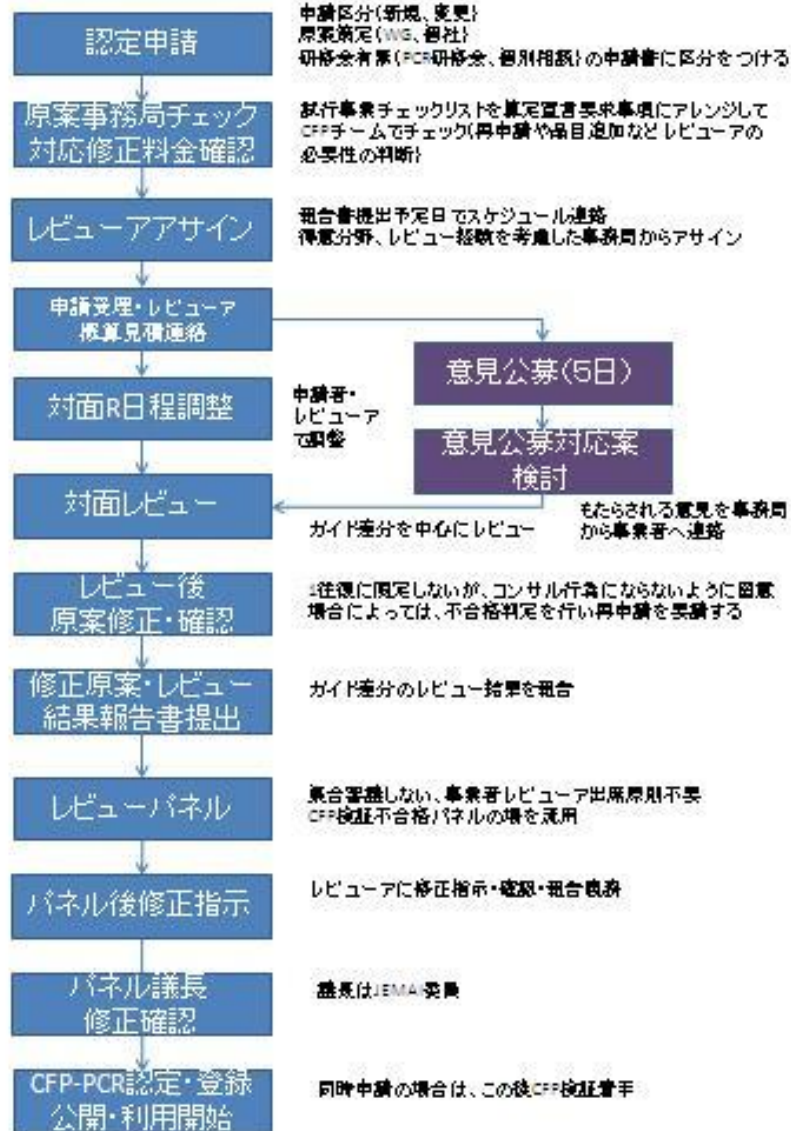
これまでの主な動き

- 5月／CFP検証が本格実施開始
 - 10営業日で合格判定実施へ
 - 試行事業を含むこれまでの累計合格アイテム数546アイテム
- 7月／規程文書類のホームページ公開完了
- 7月／CFP-PCRの認定(新規、改訂)受付開始
 - 対面レビュー後15日を最短目標に
 - 分野別ガイド(生鮮食品、加工食品、工業製品)が完成
 - すでに、1件認定手続開始
- 7月／システム認証受付開始
 - システム認証審査機関の体制構築目途が立つ

CFP-PCR認定フロー

新CFP-PG CFP-PCR認定フロー

2012/6/21



申請者様の変更点

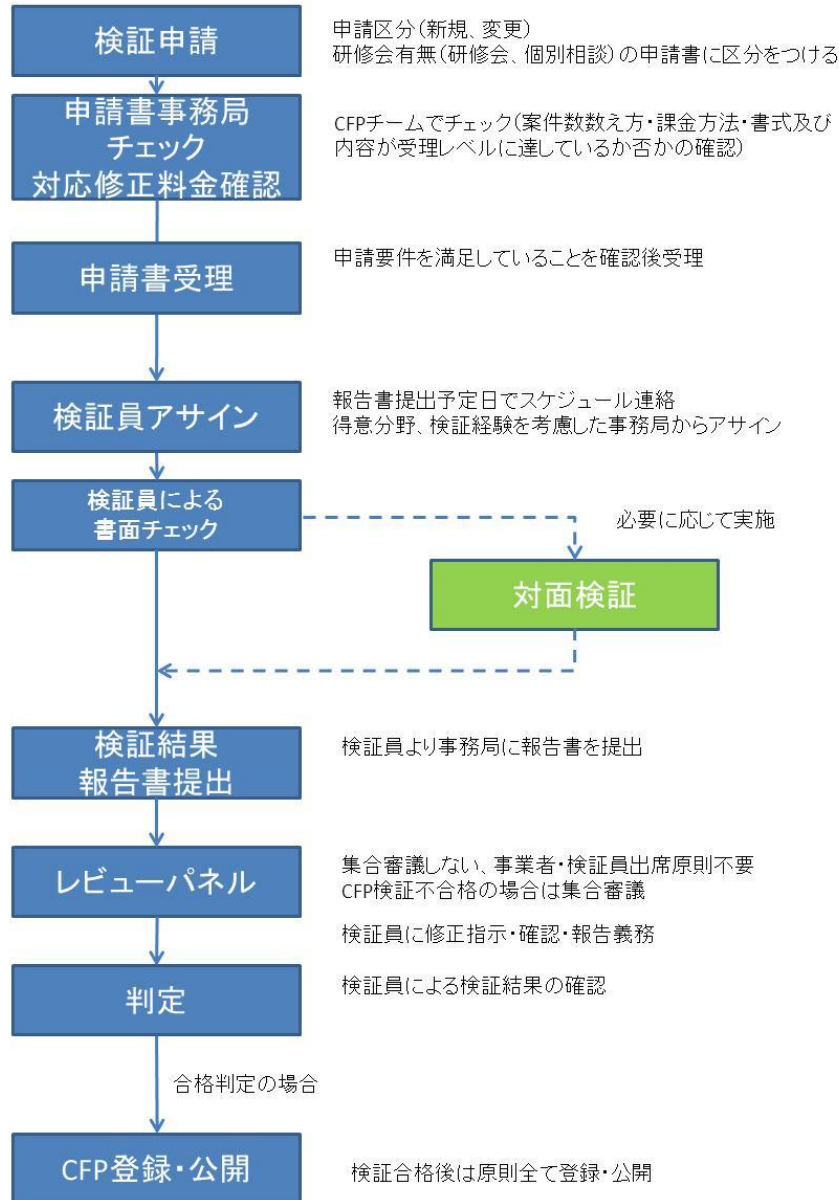
- ・CFP-PCR策定にあたり、
事前の“計画登録”は不要
- ・対面レビューは実施しますが
レビューパネルへの出席不要

CFP-PCRの見直しポイント

- WGを経由しない個品個社CFP-PCR策定も可能に
- 様式を合理的に見やすく変更
- 分野別ガイドでCFP-PCR策定がよりスムーズに
 - 生鮮食品、加工食品、工業製品が完成
 - システム、サービスも作成中

CFP検証フロー

CFP検証フロー



申請者様の変更点

- ・検証にあたり、書面検証を原則とし、対面検証は必要に応じた実施とする
- ・レビューパネルへの出席不要
- ・検証合格後、原則として登録・公開手続きが必須

CFP検証申請の見直しポイント

登録情報の様式がより進化しました

このシートはウェブサイト公開資料です。ただし企業機密情報は非公開とすることができ

カーボンフットプリント登録情報

1. 製品情報

1.1	登録番号	(申請時には記入不要です)	1.7	製品写真	製品写真やイラストを貼り付けてください。(230×230ピクセル以上が望ましい)
1.2	製品名称 (日本語)	この製品名称がウェブサイトの一部に表示されますので、具体的に製品を特定できる名称としてください。	1.4	製品の主要仕様・諸元	(製品の重量・サイズや性能など、型式を特定する情報など) 「仕様: 200mm×100mm, 200g...」 「仕様: サイズ: 200mm×100mm, 重量: 200g...」といったような「簡単な表現」を心がけてください。 なお、認められない表現としては「リサイクル30%」などが上げられます。リサイクル30%だと、使用した原材料にリサイクル材が30%入っているのだから、リサイクルが30%されることを前提に算定を行ったのか、どちらかわからないので、「リサイ
1.3	製品名称 (英語)	英語の製品名称も併せて記載してください。全角60	1.5	CFP算定単位	
1.4	製品の主要仕様・諸元	(製品の重量・サイズや性能など、型式を特定する情報など)	1.6	公開日	(申請時には記入不要です)
1.5	CFP算定単位		2. 事業者情報		
1.6	公開日	(申請時には記入不要です)	2.1	事業者名 (日本語)	3桁目を四捨五入した2桁表示が原則です。値が非常に小さい場合は「〇〇未満」と表示して構いません。 <表示例> 3.300 150 12 8.3 0.55
2. 事業者情報			2.2	事業者名 (英語)	登録情報への問い合わせに対応できる連絡先を記載してください。
2.2			電話番号		
3. CFP算定結果およびCFP宣言の内容					
3.1	CFP算定結果 (カーボンフットプリント)	1.0	kg-CO ₂ e	(購数処理により、左記の値は内訳の合計値と若干異なる場合があります。)	
内訳 (ライフサイクル段階別、プロセス別、フェーズ別、等)					
3.2	原材料調達段階	8.5	kg-CO ₂ e	単位は「g-CO ₂ e」「kg-CO ₂ e」「t-CO ₂ e」のいずれかを適切に選択してください。	
	生産段階	0	kg-CO ₂ e		
	流通段階	0	kg-CO ₂ e		
	使用・維持管理段階	0	kg-CO ₂ e		
	廃棄・リサイクル段階	0	kg-CO ₂ e		
数値表示、追加情報の内容					
	数値表示	<記載内容>	<数値表示の例>		
3.3	追加情報の記載内容	「〇〇g」など数値表示を行う際の数値と単位を書いてください。3桁目を四捨五入した2桁表示が原則です。	<ul style="list-style-type: none"> 原材料調達段階 生産段階 流通段階 使用・維持管理段階 廃棄・リサイクル <p>①「カーボンフットプリントの算定・宣言に関する要求事項 3.2.5項 追加情報」および「該当するCFP-PCR 12-1 追加情報」に記載されている要求事項に従って記載してください。 ②なお、4.1 CFP算定結果の解釈など、本シート(登録情報)に記載されている内容については検証の対象となりますので、追加情報として表示することができます。記述の重複を避けるため、この欄に本シートの他の情報を記載する必要はありません。</p> <p>数値表示や追加情報の表示を行わない場合は、3.3の記入は不要</p> <p>ライフサイクル段階別のCO₂排出量の割合を表示するグラフを記載することを推奨します。</p>		
3.4	備考	シリーズ製品として算定している場合やCFP-PCRで表示必須としている情報について記述してください			

4. CFP算定結果の解釈

検証申請書に記載されたもの(算定に用いたデータ、算定結果)のみから第三者が見ても明言できる範囲で結果を解釈してください。

- 適切な例「原料調達段階における温室効果ガス排出量が最も多くなりました。これは、購入原料である〇〇の生産に起因するものが大部分でした。ただし、原料使用量は当社データを利用していますが、原料製造時のデータは一般的な値を利用しているため、当該製品固有の特徴を反映していない場合があります。そのため、この結果は概算値としてご理解ください」
- 適切な例「使用段階における温室効果ガス排出量が最も多いため、使用時の省エネ性能が非常に重要な要素だと考えます。なお、使用段階使用・維持管理段階は、一般的な条件を設定して評価したため、お客様の利用条件と同じでない場合があります」
- ×不適切な例「一般的に〇〇製品は使用段階の影響が多いのですが、当該製品はその割合が小さいため、環境に配慮した製品と解釈されます」(検証対象外である他製品と比較してはならない。)
- また、温室効果ガス排出量のみ算定しているため、環境に配慮した製品とは必ずしも言えない。
- ×不適切な例「原材料である〇〇の寄与が大きいため、今後は〇〇など、別の材料にすることでCO₂削減が期待されます」(素材変更後、使用量(活動量)が同じとは限らないため比較はできない)
- ×その他、不適切な例: コスト・価格に関する記載(コストは検証外のため)

5. 算定条件

5.1	認定CFP-PCR名称	5.2	認定CFP-PCR番号
5.3	利用した二次データの考え方	利用した二次データの考え方について記載してください。複数ある場合は、優先順位を記載してください。	

6. 検証情報

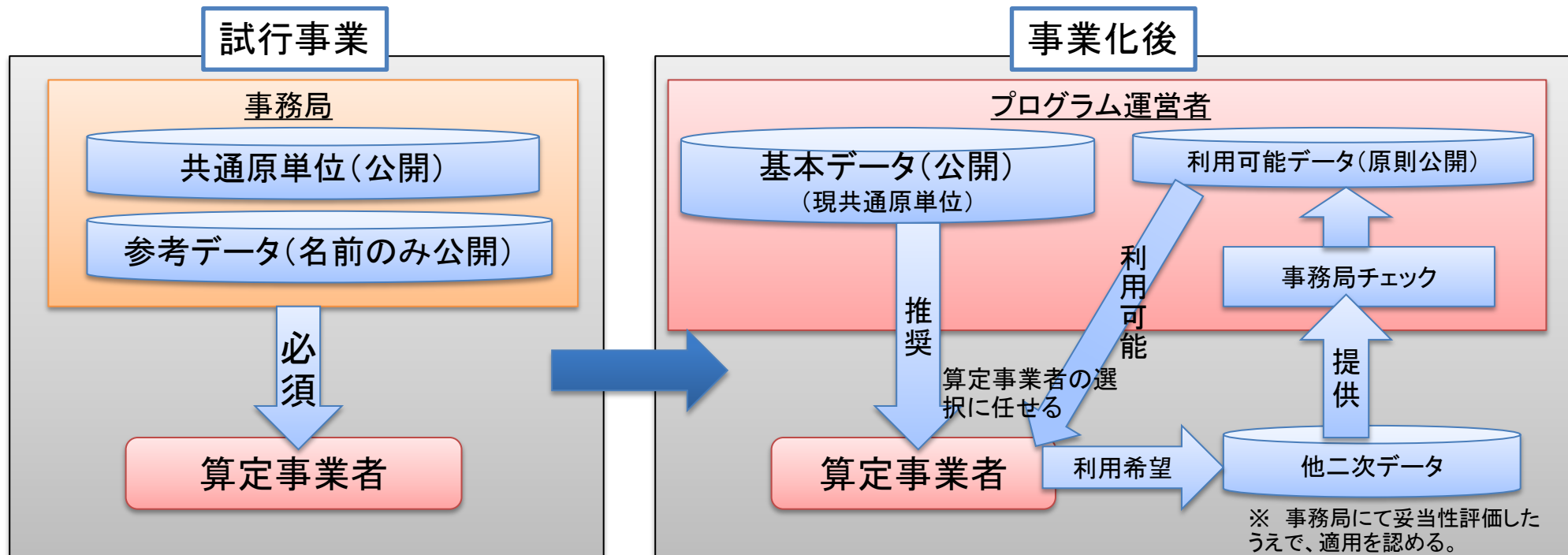
6.1	検証方式	個別検証方式	6.2	システム認証番号
6.3	検証番号	(申請時には記入不要です)	6.4	検証有効期限

・表示桁数を2ケタに(コミュニケーション重視)
・解釈欄を追加(ISO化を見越して)

2次データ使用の運用見直しポイント

2次データ(基本データ、参考データ)使用の運用見直し

- 試行事業での、**共通原単位は、「基本データ」として公開・活用する。**
- 「基本データ」以外に2次データ利用希望があった場合、「**利用可能データチェック基準**」を満足すればその使用を認める。なお、既存の参考データも利用可能データとする。
- 事務局は、**利用可能データの一覧を公開する。**



システム認証フロー

申請組織

認証機関

CFPプログラム事務局

認証審査申請書提出

申請書内容チェック

審査チーム審査計画決定

審査計画受領

第1段階審査受審

第1段階(書類審査)

第2段階審査受審

第2段階審査
(本審査・サイト審査)

審査結果報告書作成

機関内レビュー

レビュー結果報告書作成

レビューパネル確認
システム認証登録番号連絡

審査の最終判定及び認証
(認証文書発行)

システム認証登録申請

システム認証登録申請
受領確認

登録完了

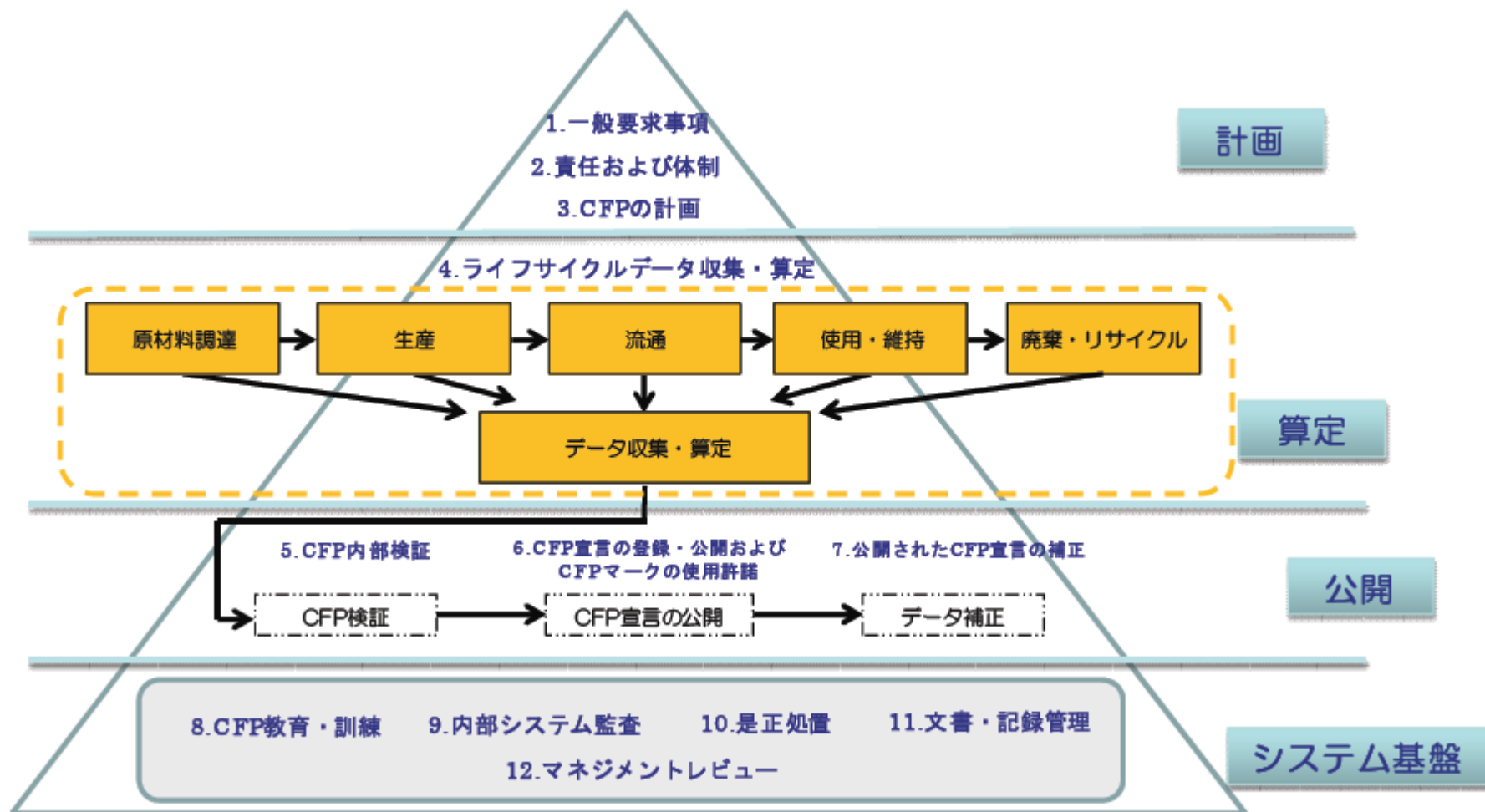
システム認証受付スタートと申請条件

申請にあたっては、以下の条件をクリアする必要がある

- ✓ 1アイテム以上の個品別検証経験あり
- ✓ システム要求事項を満足するCFP算定システムが構築済
 - システム＝(要員、文書、マネジメントレビューを含む運営実績)
- ✓ 要員が確保されている
 - トップM、CFP管理責任者、内部検証員、内部監査員
- ✓ 1アイテム以上当該システムを利用し内部検証が実施



システム認証要求事項体系





システム認証審査機関

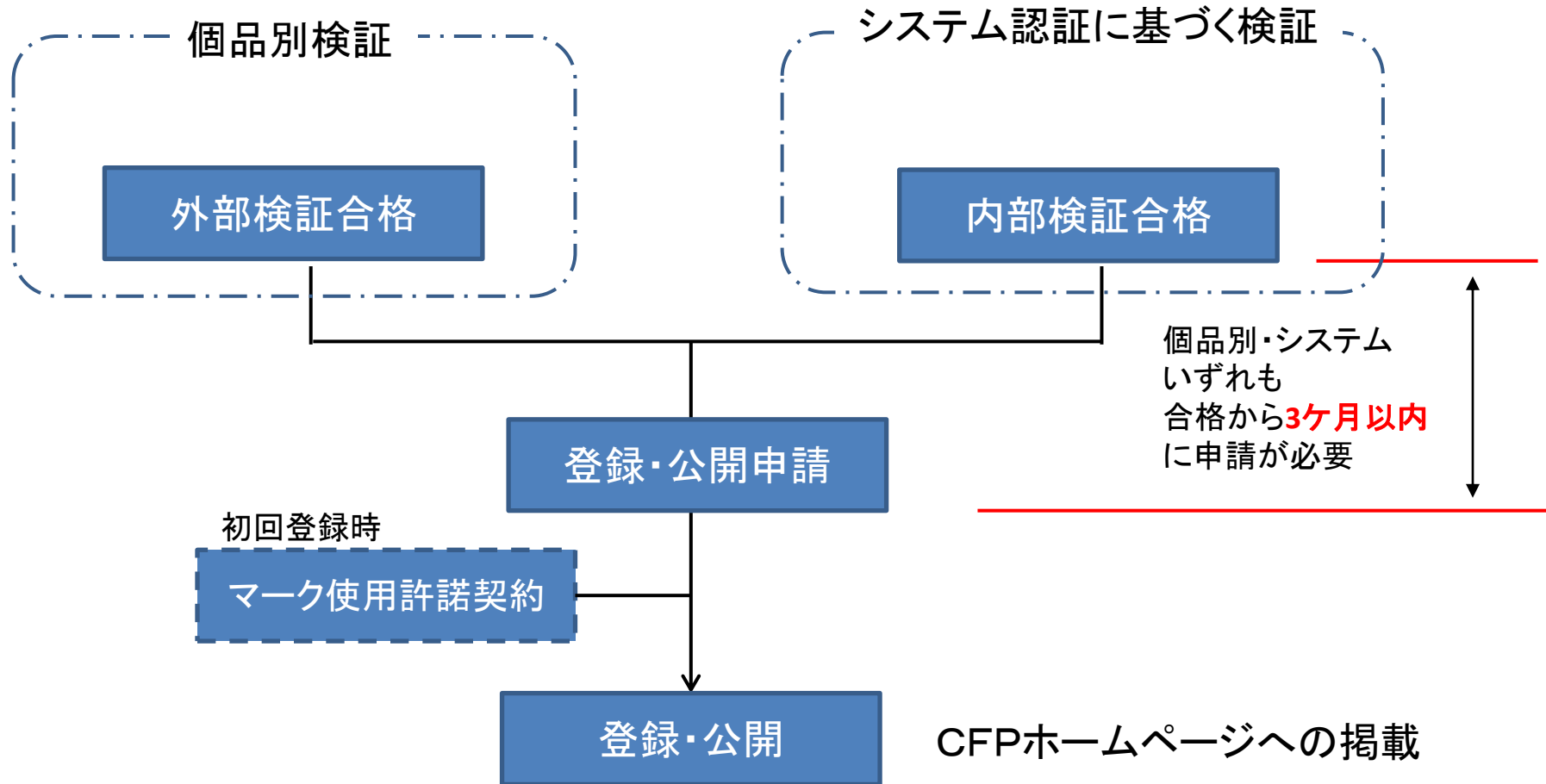
試行事業からご協力いただいた5機関と共に進めます

【参加予定認証機関】

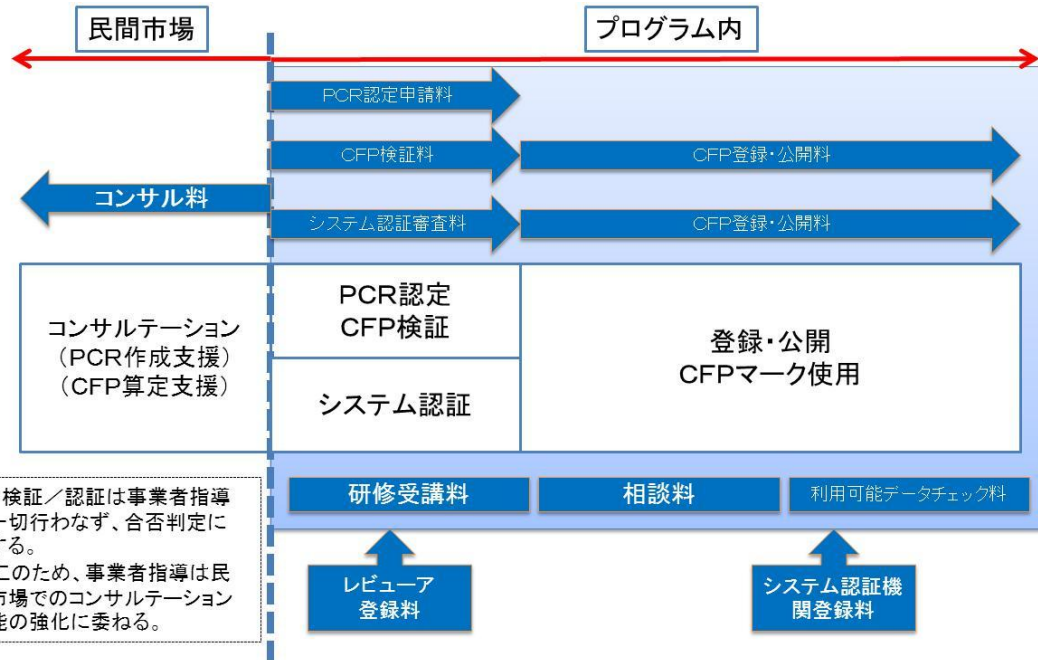
- SGSジャパン株式会社
- 一般財団法人 日本ガス機器検査協会
- 一般財団法人 日本品質保証機構
- ビューローベリタスジャパン 株式会社
- ロイド レジスター クオリティー アシュランス リミテッド

CFP登録・公開フロー

検証合格後、登録・公開手続きを経てCFP宣言の公開が可能となる



価格設定の考え方



対価項目	基本単価
CFP-PCR 認定料 (事前レビュー有り)	115,500 円 / CFP-PCR
CFP-PCR 認定料 (事前レビュー無し)	31,500 円 / CFP-PCR
CFP 検証料	105,000 円 / 製品

企業単位での CFP 製品売上額	登録・公開料(円)	
	区分	単価
0 円(販売を目的としないもの)	一律	10,500
1,000 万円未満	一律	21,000
1,000 万円以上 5,000 万円未満	一律	31,500
5,000 万円以上 1 億円未満	一律	63,000
1 億円以上 5 億円未満	一律	136,500
5 億円以上 10 億円未満	一律	273,000
10 億円以上 100 億円未満	中小企業	399,000
	その他企業	798,000
100 億円以上	中小企業	525,000
	その他企業	1,050,000

<各料金に含まれるもの>

- ・CFP-PCR認定料
レビューアの作業費、事務処理費(パネル運営、登録公開管理費など)
- ・CFP検証料
検証員の作業費、事務処理費(パネル運営、登録公開管理費など)
- ・登録・公開料
事務手数料、運営会務費、マーク使用許諾料、その他管理経費



CFPプログラム

カーボンフットプリントコミュニケーションプログラム

CFPコミュニケーションプログラムの 本格始動にご期待ください



facebook いいね!
カーボンフットプリントコミュニティ



twitter フォロワー
CFP関連の話題をゆる〜くツイートします